

「自由が丘 きものあさぎ」で出会う、とっておきの一枚
女将の美意識が冴える
個性派コレクション

洗練された大人の街、東京・自由が丘で一人ひとりのお客さまと丁寧に向き合う、サロンスタイルのお店です。きものをこよなく愛する女将が選りすぐったきものや帯は、珠玉の品揃え。心地よい空間でじっくりきもの選びができます。

左「自由が丘 きものあさぎ」は、1999年開業。女将の内藤ゆう子さんのユーモラスで優しい人柄から、お客さまからの信頼度がうかがえます。落ち着いてきものを選んでほしいとの思いから、お店はマンションの最上階に構え、快適なサロンスタイルに。きもの相談が終わったら、リビングでティータイムを楽しむ方も多そうです。内藤さんの今日の装いは、無地の結城紬に花織の名古屋帯。

単に商品を選ぶだけではなく、きものや帯の技法、素材の話、作り手などの背景や物語を伝えることで、コーディネート幅も広がり、より深みのあるきものスタイルが完成すると、女将の内藤ゆう子さんは考えています。

「自由が丘 きものあさぎ」が扱っているきものや帯は基本的にリサイクル品ですが、ほとんどが美品で、内藤さんの感性で集めた、ほかにはない個性的な品揃えが自慢です。森口華弘や喜多川俊二などの有名作家を多数扱っていますが、とくに、浦野理一の作品が充実。そのほか、全国の染織工芸品も。国産にこだわっているため、生地の質のよさは保証付き。探しているきものが、ここでなら見つかるかもしれない。「大事なきものを売りたい」という場合も、鑑定歴20年以上の内藤さんにおまかせを。



上・今では貴重になった豪華な染め名古屋帯は、袖、小紋、色無地、江戸小紋などにおすすめ。3点とも素材は縮緬で、手描き友禅と手刺繍が施されている。黒地とブルー地は東京染織大産製、クリーム地は東京友禅作家・熊谷好博子の作品。

下・きものを選ぶときは、自然光が降り注ぐ和の空間で。ここで、お客さまときもの相談に花を咲かせるのも楽しみの一つ。ご要望に応じて、着付けのアドバイスなども行っています。



撮影・岡田ナツ子 (Studio Mug) ヘア&メイク・着付け・塚崎直美 静物着付け・伊藤和子 構成・文/宮下信子

「種類の花だけをあしらった
 上質な訪問着は、究極のお洒落。」



爽やかな水色地に
 橘だけを愛らしく手刺繍で表現

長寿と子宝の象徴とされる橘が、ほぼ全体に繡いであしらわれている訪問着は、お祝いの席に最適。柑橘類の一種である橘は、『古事記』には不老不死の理想郷に自生する植物と記されています。帯合わせで印象が変わりますが、ここでは唐草華文が織り出された、龍村美術織物の袋帯でドレスアップを。きものは京都・千總の特注品。きもの一式/自由が丘 きものあさぎ



白い輪子地に金駒刺繍の
 優雅なカサブランカを大胆に

婚衣装にも用いられる華やかな白の輪子地に、百合の女王とも称される大輪のカサブランカを伸びやかに配置。花びらには華麗な金駒刺繍が施されています。桐唐草と鳳凰を織り出した金地の御帯を合わせると、主役にふさわしいゴージャスで上品な装いに。きもの一式/自由が丘 きものあさぎ



はんなりとしたグリーン地に
 カトリアを洋画風のタッチで艶やかに

カトリアを生き生きと表現した訪問着は、友禅に洋画の技法を応用した染色家、皆川月華の作品。花びらの輪郭を金の刺繍で表現することで、重厚な立体感を演出。黄色の花菱文様の二部式帯を合わせて、若々しく装います。きもの一式/自由が丘 きものあさぎ

●お問い合わせ「自由が丘 きものあさぎ」
 ☎03-5701-3478 (受付8時～20時)
 店舗営業時間 12時～19時
<https://www.kimono-asagi.com>